



将来はプロのギタリストになりたい

profile

平成17年6月21日生まれ。趣味はギターとピアノ演奏。入江4区在住。15歳。

Spotlight

スポットライト



夢に向かって一歩ずつ

佐々木海さん

「曲

をいろんな演奏方法やたぐさんの音で表現できるのがギターの魅力です」

ギターの魅力を話すのは、3月に虻田中学校を卒業した佐々木海さん。

佐々木さんは室蘭市の出身で、2歳のときに洞爺湖町に引っ越してきました。

父親が演奏していたギタリストである押尾コータローさんの曲を聞いたときにかっこいいと思う、小学校3年生からギターを始め、最初は父親

に教えてもらっていました。現在は独学でギターを学んでいます。小学校5年生のときに父親のつながりで札幌市のライブハウスで演奏したのが、初めてのステージでした。

「ギター演奏を披露するときには聞いてくれる人への感謝の気持ちといつも応援してくれる人が楽しんでもらえるように笑顔でいいパフォーマンスを意識して弾いています。」

作曲も行う佐々木さんは、

自分の気持ちや経験などを基にそのときの感情によって曲名や曲調を考え、試行錯誤しながら作曲をしています。

「初めて作曲した『オフロード』という曲は、中学校に入学したばかりで、勉強と部活動の両立が難しく、自分自身が感じた複雑な道のりを曲に表しました」と話します。

現在は新型コロナウイルス感染症の影響で、町のイベントへの出演やライブ活動を行う機会が少なくなっていますが、自分の技術を向上させるために、たくさん曲を作りアルバムを作りたいと意欲をみせています。

最後に佐々木さんは「いつも演奏を聞いてくれる人や初めて聞いた人にこれからも応援してもらえるとうれしいので、その期待に応えられるようなパフォーマンスをしたいです。今後は、今まで以上にギターと歌にも力を入れ、将来はプロのギタリストになりたいです」と意気込みを語ります。

東奔西走



4月号を以って私自身が作成する最後の広報となりました。取材や写真撮影などご協力いただいた町民の皆さんには、深く感謝します。本当にありがとうございました。これからも広報とうやこをよろしくお願いいたします。(C.K)

アイヌ民族共生拠点施設ウトウラノがオープンしました。私自身、今までアイヌ文化や歴史に触れる機会が少なかったもので、少しずつ理解を深めていきたいです。(M.O)

今月のワンショット



洞爺財田自然体験ハウスふれあい行事
生きものさがして野鳥観察をする参加者